卒業論文

高学歴女子学生の描くライフコース
――均等法第一世代の娘として――

2013 年度入学
九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース
社会学・地域福祉社会学専門分野
2017 年 1 月　提出

要 約

本論文の目的は、第 1 にこれまで先行研究で提示されてきた「専業主婦志向」の有無を再検証し現在の女子学生が思い描くライフコースを明らかにすること、第 2 に現在の女子学生の専業主婦志向は、従来言われてきた専業主婦志向とは異なる、仕事と家庭の両立に苦しんだ均等法第 1 世代の母親の影響を受けた「諦めの専業主婦志向」であるという仮説を検証することである。

第 1 章では、「ライフコース」という視点の成り立ちから現在の定義までを整理するとともに女性のライフコースが現在に至るまでどのように変化してきたかについて時系列順に述べている。この章では女性のライフコースがその当時の風潮や社会制度に大きく影響を受けながら様々に変遷してきたことが分かる。

第 2 章では、これまで女性のライフコースに関して行われてきた先行研究として、「専業主婦志向」に関する研究と「均等法第一世代」に関する研究をそれぞれ 2 つずつ、大きく 4 つの研究について言及している。

第 3 章では、2 点分析を行っている。第 1 に、女子学生のライフコース選択に関して得られた結果から本論文の 1 つ目の論点である現在の若い女性の「専業主婦志向」の有無を検証するとともに思い描くライフコースがどのようなものであるかを考察している。第 2 に、女子学生のライフコース選択に関して得られた結果と均等法第 1 世代である母親に関して得られた結果から本論文の 2 つ目の論点であり従来とは異なる「諦めの専業主婦志向」という仮説についての検証を行っている。第 1 の分析では、4 割の女子学生が一時期にしろ「結婚、出産時に仕事を辞める」ことを想定していることが分かり、現在の女子学生に「専業主婦志向」が見られるということが言えた。第 2 の分析では、母親をロールモデルに同じようなライフコースを選択したいという理由から専業主婦を選ぶ者と仕事と家庭の両立を果たせなかった母親の姿を見て両立の希望を諦める者が見られた。したがって「諦めの専業主婦志向」を確認することができた。しかし、「諦めの専業主婦志向」に分類された者は少数であり多く見られたのは、その 1 歩前の段階であると考えられる者であった。その者たちからは将来の希望を諦めるとまでには至らないが、実際に自分に実現できるのだろうかという不安が読み取れた。さらにその不安を助長しているのは、娘にとって 1 番のロールモデルとなる「母親が実現できなかった」という事実であることも明らかになった。

第 4 章では、本調査によって得られた結果を整理し、本論文を締めくくっている。

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1 女性のライフコースの変遷と現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.1 ライフコースとはなにか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.2 戦前の女性たち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.3 戦間期における女性労働・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.4 高度経済成長期の女性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.5 男女雇用機会均等法の制定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.6 非正規労働の増加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.7 専業主婦志向の出現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.8 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2 女性のライフコースに関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.1 専業主婦志向に関する先行研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.1.1 隠れ専業主婦志向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.1.2 雑誌が形成する新・専業主婦志向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.2 均等法第一世代に関する先行研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.2.1 均等法第一世代に関するデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.2.2 総合職女性の思い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.3 先行研究総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3 女子大学生の意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.1 課題設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.2 研究方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.2.1 調査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.3 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.3.1 調査対象について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.3.2 女子学生のライフコース選択についての結果・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.3.3 均等法第一世代である母親についての結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4 結論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
添付資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
謝辞・・